

PRESS RELEASE

2015 年 9 月 24 日【参考日本語訳】

アルカテル・ルーセントと中華電信(Chunghwa Telecom)、 台湾にて世界初^{*1}となる G.fast 超高速ブロードバンド・アクセス・ テクノロジーの商業展開を開始

光ファイバと銅配線とを組み合わせた、高速アクセスへの需要を迅速かつコスト効率良く満たす
イノベーションの恩恵を多数の家庭に

【2015 年 9 月 14 日、フランス、パリ発】アルカテル・ルーセント(ALU／ユーロネクスト・パリ、ニューヨーク
証券取引所)と台湾最大のサービスプロバイダである中華電信(Chunghwa Telecom)は、世界初となる
G.fast 超高速ブロードバンド・アクセス・テクノロジーの商業展開を開始し、「ラストマイル」を高速化すること
により光ファイバのみの超高速接続をすべての家庭に提供することになりました。

現在は台湾の家庭のうち 68%がブロードバンドによるインターネット接続を行っています。しかし 4K テレビ
や HD ビデオストリーミングなどへの需要拡大に伴い、超高速ブロードバンドへのニーズも着実に高まって
きています。これに応えるため、中華電信は光ファイバと銅配線の組み合わせを使った、FTTx(fiber-to-
the-premises)インフラストラクチャを全国の住宅とオフィス顧客に展開しています。この展開を加速し、ギガ
ビット近くの速度での配信を実現するため、中華電信はアルカテル・ルーセントの GPON および G.fast テク
ノロジーを導入します。

アルカテル・ルーセントとベル研究所は G.fast の開発と導入に関してパイオニアとしての役割を担ってきて
おり、このテクノロジーは世界の 30 社を超える通信事業者によりすでにトライアルが行われています。
G.fast によってサービスプロバイダはファイバ導入が難しい場所にも超高速ブロードバンドを提供し、家屋
やビルへの引き込み配線の最後の部分に銅配線を使うことにより超高速の接続を実現することができます。
G.fast ではまた、FTTx 導入の際に最も費用と時間を必要とする、建物や家屋全体の配線し直しが不要とな
ります。

光ファイバと G.fast の組み合わせによって中華電信は台湾の多数の家庭に高速ブロードバンドを 2 年以内
に提供し、また到達困難な場所にある住宅への固定回線ブロードバンド・アクセスを改善することを目指した、
台湾の国家通訊伝播委員会(National Communications Commission)による計画にも対応することができます。
中華電信は G.fast を使った超高速ブロードバンド・サービス提供を台湾の 840 万の住宅と低層
および高層のビルに向け 2015 年第 4 四半期中に開始する予定です。

主なポイント

- 中華電信は以下のものを含むアルカテル・ルーセントの G.fast テクノロジーを使用します。
 - [7368 Intelligent Service Access Manager \(ISAM\) Optical Network Terminals \(ONTs\)](#)
 - [7368 Intelligent Services Access Manager \(ISAM\) CPE](#)、リバース給電内蔵
 - [5520 Access Management System](#) によりコストと複雑さを軽減しながら、ラストマイル FTTH
(Fiber-To-The-Home) 超高速ブロードバンド接続を加速

- 中華電信はすでにアルカテル・ルーセントの [7342 Intelligent ISAM](#) および [7360 ISAM](#) GPON 製品を展開中
- アルカテル・ルーセントの G.fast テクノロジーは光ファイバの速度を銅配線の電話回線でも実現するため、サービスプロバイダは超高速ブロードバンド・サービスをすべてのユーザに迅速かつコスト効率良く提供できるようになります。G.fast を通じた銅配線と光ファイバの組み合わせにより、サービスプロバイダは展開に伴う障害を克服できます。

関係者のコメント

中華電信の石木標(Mu-Piao Shih)総経理(社長)は次のように述べています。

「中華電信は近年になってブロードバンド・ネットワーク・サービスを大きく、また問題を先取りする形で改善していますが、このたび世界で初めて G.fast による商業ブロードバンド・サービスのプロバイダとなったことを喜ばしく思っています。アルカテル・ルーセントの G.fast テクノロジーを使い、中華電信は今年末に向けて超高速ネットワークによるサービスを開始し、最高のブロードバンド・サービスによるエクスペリエンスをお客様に提供することによって、100Mbps から 1Gbps までの光ファイバ・ブロードバンド・サービス市場のリーダーとしての地位をさらに強固なものとします。」

アルカテル・ルーセント台湾の社長兼マネージングディレクターであるケン・ワー(Ken Wu)は次のように述べています。

「固定回線による超高速ブロードバンドのイノベーターであるアルカテル・ルーセントは、G.fast を市場に提供する最初の企業となりました。この 1 年間にわたり、アルカテル・ルーセントはこのテクノロジーのトライアルのため世界中の大手オペレータと協力してきました。」

「昨年末にはアルカテル・ルーセントの研究部門であるベル研究所がこのテクノロジーを発表し、従来の銅配線による電話回線の速度を 10Gbps に高めました。今年に入ってから台湾市場ではこの最新テクノロジーの導入がすでに急速に進み、台湾の消費者に中華電信の G.Fast 超高速ブロードバンド・サービスを提供するため、他の市場に先駆けて商用サービスを開始しました。本日、中華電信がパイオニアとして、このテクノロジーを商業的に展開する世界初のオペレータとなったことを喜ばしく思っています。中華電信のポートフォリオにアルカテル・ルーセントの G.fast テクノロジーが加わったことにより、どのような展開シナリオによるニーズにも応え、この競合の激しい市場においてお客様を迅速に、またコスト効率良く接続できるようになりました。」

1*: 2015 年 9 月 14 日現在

原文: [Alcatel-Lucent and Chunghwa Telecom launch world's first commercial deployment of G.fast ultra-broadband access technology in Taiwan](#)

<アルカテル・ルーセントについて>

アルカテル・ルーセント(Alcatel-Lucent)はグローバル通信の分野をリードする企業であり、IP およびクラウド・ネットワーキングの製品や革新的なソリューションを提供しています。また、サービスプロバイダとそのお客様、世界中の各種法人及び政府機関に対し、超高速ブロードバンドの無線/固定アクセスを提供しています。

アルカテル・ルーセントは、音声電話技術からデータ、ビデオ、情報の高速デジタル・デリバリーへ移行しつつある業界を牽引しています。これを支えるのはベル研究所です。ベル研究所はアルカテル・ルーセントが擁する研究所で、世界最先端の研究開発機関の一つであり、数えきれないほど多くの技術革新によりネットワーキングと通信業界の形成を担ってきました。

アルカテル・ルーセントはフランスのパリに本社を構える法人で、2014 年の売上高は 132 億ユーロ。ユーロネクスト・パリ、ニューヨーク証券取引所に上場しています。

URL: <http://www.alcatel-lucent.com> / Blog: <http://www.alcatel-lucent.com/blog/>

Twitter: http://twitter.com/Alcatel_Lucent

<日本アルカテル・ルーセント株式会社について>

日本アルカテル・ルーセント株式会社は、次世代のネットワーク・サービスを中心とした固定/無線アクセス、IP、光伝送、アプリケーション、エンタープライズの事業分野で関連機器及びプロフェッショナルサービス、インテグレーション、保守を提供し、国内大手通信事業者をはじめ、各種法人、政府機関など幅広いお客様をサポートしています。

所在地: 〒141-6006 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 6F / 代表取締役社長: ニコラ・ブーベロ (Nicolas

Bouverot) / 資本金: 4 億円 / URL(日本サイト): <http://www.alcatel-lucent.co.jp>

Facebook: https://www.facebook.com/ALU_Japan / Twitter: http://twitter.com/alu_japan

.....
本件に関するお問い合わせ先:

日本アルカテル・ルーセント株式会社

コミュニケーション部 クルザーチエ・キャロリーヌ

TEL: 03-6431-7000 FAX: 03-6431-7024

E-mail: jpmarcom@alcatel-lucent.com

.....